

私が茨中・茨高の学習面で良かったなと思ったことは、定期的にテストが行われることです。茨中・茨高では年に6回定期テストがあり、また模試も数回あるので、テスト慣れができます。私は元々テストで良い点を取るという目標から逆算して計画を立てることが苦手でした。そのため、中1の頃は毎日勉強するという習慣もなく、テストも悪い点数ばかりを取ってしまっていました。しかし、定期テストを繰り返すうちに計画の立て方や勉強の仕方がわかるようになり、自分は何がわからないのか、何が苦手なのかを分析する力も身につきました。また、わからないことや苦手なことは課外授業に参加したり、先生方に質問しに行ったりしていました。質問しに行った際には、わかりやすく、理解できるまで教えてくださいました。

私は中学生のときは部活動に所属せず、高校生になってから3年間弓道部に所属し、副部長を務めていました。それぞれの中記録を記入したり、先輩後輩関係なく、お互いの射形を見てアドバイスしあったりしていました。また、春、夏、冬には合宿があり、それぞれ合宿が終わるまでに達成したい目標を持ち、練習に励んでいました。年間行事では特にクラスマッチが一番心に残っています。年に2回、9月と3月に行われ、場所は本校の体育館とグラウンドです。サッカー、ドッジボール、バドミントンなどの運動系、また文化系の競技である UNO やジェンガなど全員が活躍できる種目がたくさんあります。クラスマッチ前にバドミントンやドッジボールを練習したり、当日は声が枯れるほど応援したことは最高の思い出になりました。

茨中・茨高の良いところは、きちんとした学習環境があるところだと思います。中学と高校それぞれに自習室があり、職員室と同じ階にあるので、勉強していて、わからないことがあればすぐに先生方に質問しに行けます。学習面のサポートだけでなく、特に高3の時は進路の相談もたくさん乗っていただき、定期的に実施される担任の先生との面談や他の先生方にも精神的な面でも支えていただきました。

大学進学後は、弁護士になり、障害者とその家族をサポートしていきたいと思っています。私の兄は重度の障害を持っており、私自身の境遇だからこそ知り得る問題に加え、さらに見えない苦しみや問題が潜んでいることを知りました。障害者やその家族、周囲の人々を助け、守ることができる人になり、法律でさまざまな社会問題を解決していきたいです。